

東部地区漁業士と行政との意見交換会

平成30年9月28日に東伊豆町役場会議室にて東部地区漁業士会と県行政との意見交換会が開催されました。漁業士会からは高田会長をはじめ23名、県行政からは水産局長ほか6名、来賓として伊豆漁協組合長、漁業振興基金常務理事他が出席しました。

今回はキンメダイ等の主要資源が低迷する中で、伊豆の漁業者がどのような展望をもって漁業を続けていくのかについて意見交換が行なわれました。国によるキンメダイ資源評価では、漁獲努力量を削減をしないと資源が減少していくと予測されています。また近年は黒潮やサメ等による食害の影響で漁獲量が低迷しており、何らかの対応が必要な時期にあります。しかしキンメダイへの依存度が高い現状では、これまでの自主規制をさらに厳しくすることは簡単ではありません。意見交換会では、周辺都県の資源管理の動向を注視するとともに、食害被害の低減対策も重要であることや、自分たちの漁獲物の価値を消費者に認めてくれるような努力も必要等の意見がだされました。



意見交換会の様子

(高木康次)